

～王妃になりたいくば夜伽で殿下に愛され続けよ～

異世 大奥

*Isekai
Dooku*

1

Sauro
サウロ

異世界大奥
～王妃になりたいくば
夜伽で殿下に愛され続けよ～

第 1 話

加治達樹様 結婚
倉山麗華様

新郎新婦による
ケーキ入刀です

パチ。パチ

パチ

パチ。パチ

この私
くうやま れいか
倉山麗華は

裕福な
資産家の
1人娘として

蝶よ花よと
育てられ

学生時代は
クラス全員の
憧れの的であり

常に
1番モテる男が
私の彼氏だった

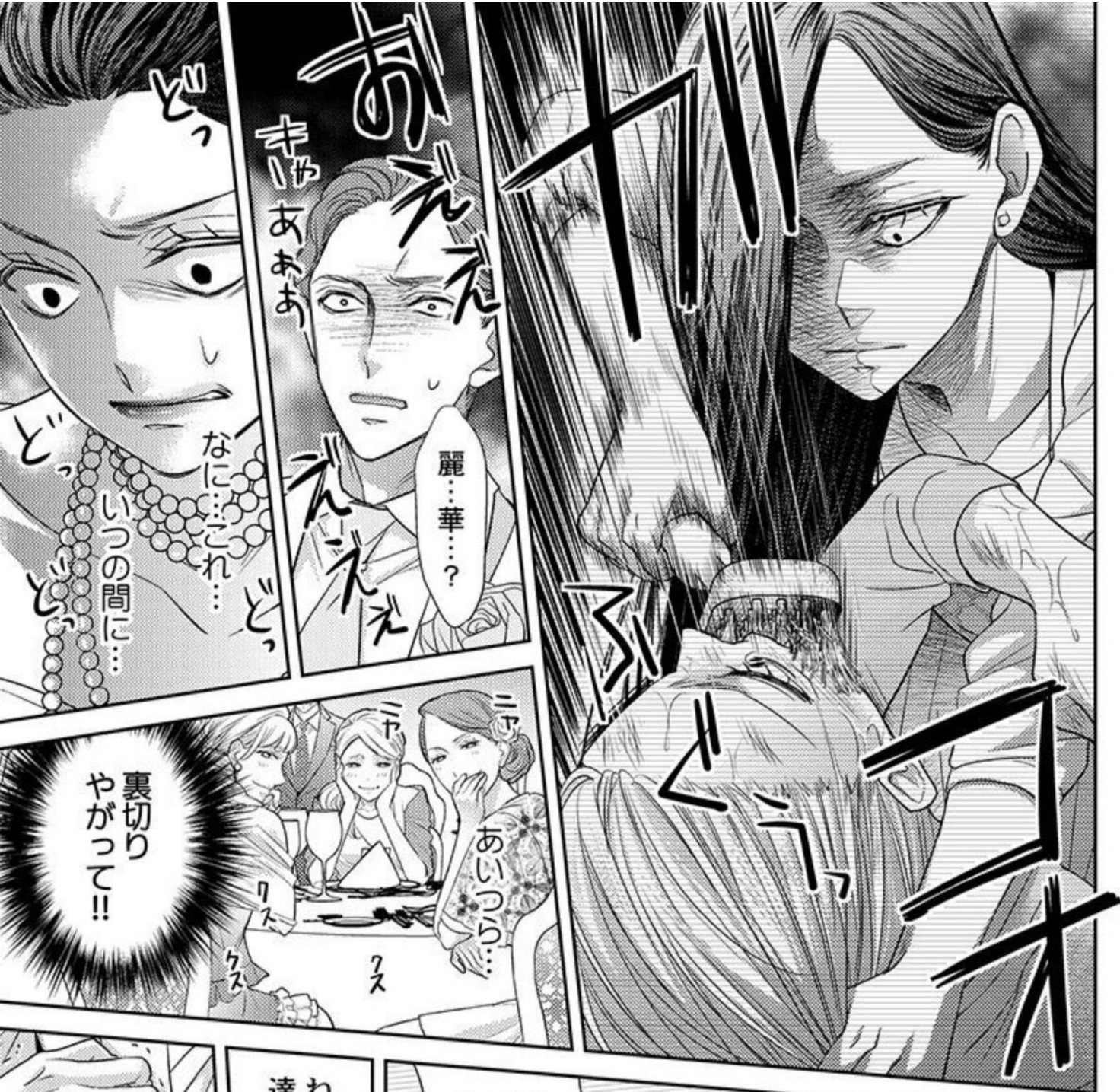
そして
今日は…

麗華

有名大企業
期待のホープとの
結婚式

愛してるよ

完璧だわ



これは
違うの！

同僚にやれって
言われて...っ

無理だ
近寄るな

この結婚は
なしだ!!

いや!!
絶対別れない
から!!

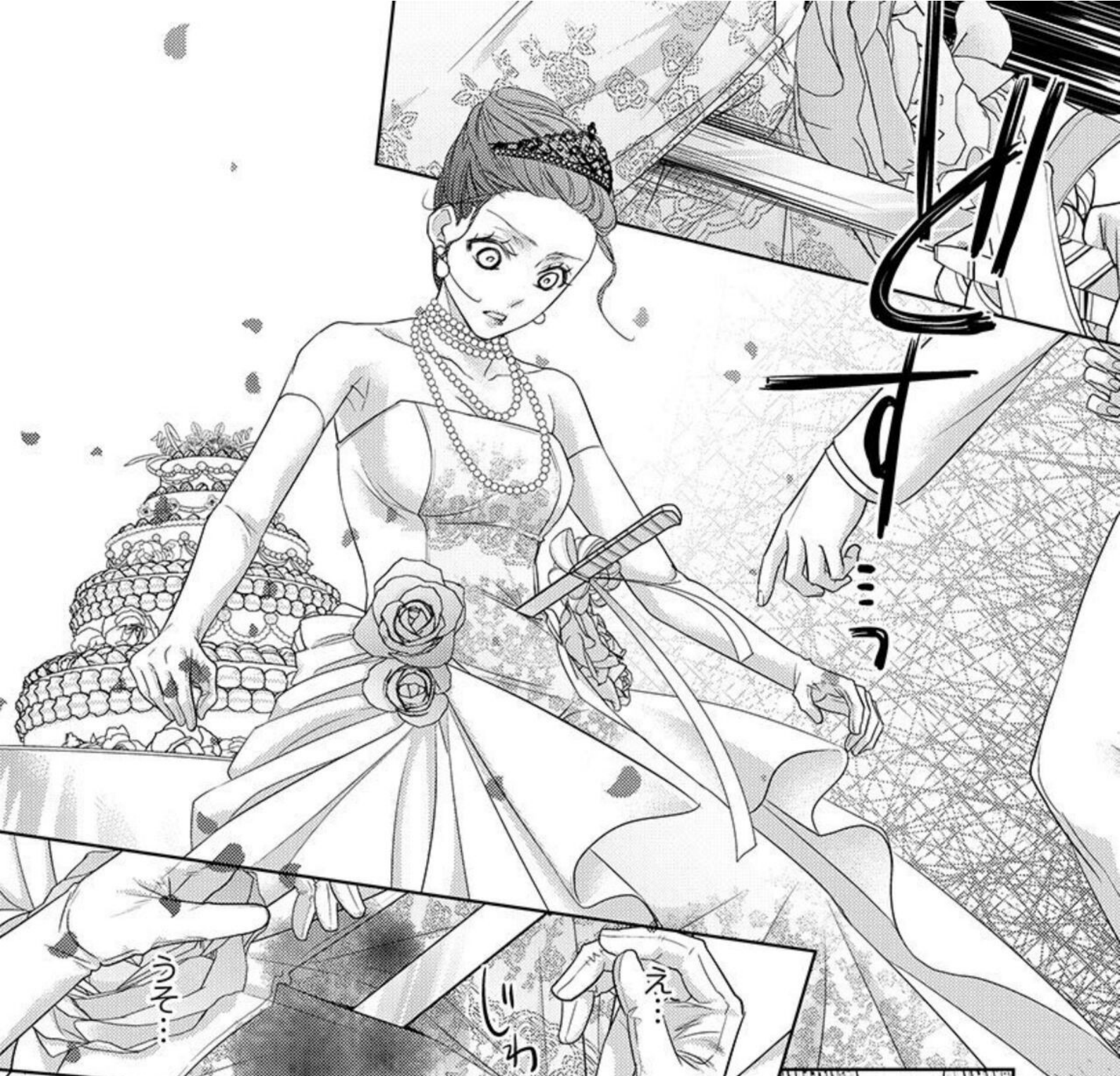
誓ったでしょ!!
さつき!!

永遠の愛を!!

ねえ
達樹...っ

離せ...っ

麗華...っ



せっかく…
何もかも
上手くいった
のに…

しっかり
してくれ…っ

え…
いっ…

麗華
ごめん…っ
刺す…
つもりは…っ

こんな
ところを…

麗…



無礼者!!

自分の立場を
わきまえなさい!!

アネツサ
様にたて
つく
なんて...

え...

新入りの
くせに...

私:
結婚式の最中に
刺されて...

はっ



そうだ:
私の名は...レイナ...

レイナさん!

大丈夫!?

あの日
麗華として
死んで

この世界に
転生した



王子殿下
ご入場——



第四王子
グレン殿下

第三王子
リュカ殿下

第二王子
デレク殿下

第一王子
クラウス殿下



王子...?

なに...これ...?
どういう状況...?

カリ

カリ

カリ

はっ

ん?

君...

クラウス殿下
ご無礼を
お許しください

この者はまだ
この「大奥」に
入廷したばかり
で…

やばっ!!

頭下げないと
ダメだったんだ…!

たっ大変
ご無礼を…

なるほど

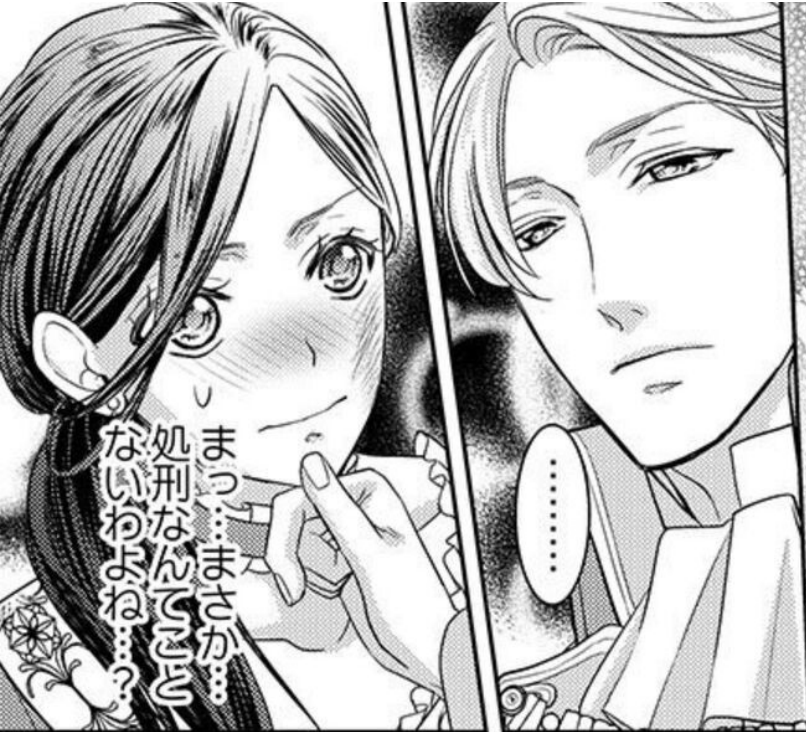
どうりで
初めて見る
顔だ

どっ

どっ

もっと
よく見せろ

ハイッ







まあ！

きつと
叩かれたショックで
記憶が飛んだのね！

私たちみんな
王子様たちの
ために
この「大奥」に
集められた

次期王妃候補よ



今日は
定期的に行われる

王子様と
候補者全員との
舞踏会で…

私たち新入りは
ドレスも格下だし

王子様たちの
目には届かない
場所にいるように

アネッサ様たちに
指示されて…

それで
レイナさんが…



あのっ

なぜ新入りは
このような
貧相なドレス
なのですか？

次期王妃候補で
あることは
先に入廷しようが
後に入廷しようが
変わりません

全員同じように
着飾らなければ
不公平では？

ああ…

それで
無礼者…と

思い出したわ

なぜだか
急に思い出した
麗華の記憶のせいで
頭が混乱したみたい…

王子殿下
ご退場—

結局誰とも
踊れなかった…

それでは
これから

新たに
ご入廷なさった
新次期王妃候補の
皆さんの

歓迎会を
執り行います

歓迎会…？

レイナ・
オルガ！！



アネツサの望みは
手に取るように
わかる…

麗華…

できないよ…
お願いだから
許して…

私は前世で
アネツサ以上に
人をいたぶって
きた

莉子お

あんた
裏では

私の悪口
言っくん
だってね

そんなヤツ
友達って
言わないよね

ありがたく
受け取んな…

…あの
羞恥に震え
許しを請う目

よッ

アネツサが
見たいのは
あの顔でしょう
けど…

思い通りには
させない

でも
今まで仲良く
してくれた
お礼に

コイツの
童貞あげる

わかりました

私が前世で
したこと
比べれば
可愛いものだわ

こっ

ここではなく
裏で準備なさい！

別に

どこで脱いでも
変わらないじゃ
ないですか

あなた方は
私を辱めたい
だけですよね？

ただ私は

自分の
プロポーションに
自信があるので

全裸で踊るくらい
恥ずかしくも
なんともありません

随分と
威勢のいい
女だな



クッ
クラウス殿下…!!



また
君か…

うそ…こんな姿…
王子に見られるなんて…



なんとも
くだらない遊びを
思いついたものだ



は…

レイナ…オルガ
と申します

レイナか…
気に入った



裸の女

名は？



え…!?



お夜伽
部屋!?

こちらで
お待ちを

大奥・宵月の館

とき

入廷したばかり
なのに

もう夜伽に
呼ばれるなんて…

とき

さすがに
緊張する…

ここぞ…殿下と…

さっきの威勢は
どこへ行った?

クラウド殿下!



きやつ

こっこの度は
このような
ご荣誉を賜り

心から…

そんな
殊勝な口も
利けるんだな



あつ

だが
必要ない

さっきの
レイナ・オルガで
いい



殿下の
熱い舌と
甘い
香り……

ちゃ……

まるで
お酒に酔った
みたい……

は、

ちゃ、



麗華の
記憶にある
キスは……

こんなじゃ
なかった……

専門外です……っ

こっ
こっ
こういふことは……



と……っ
虎!?

さつきは
虎のようだったのに
今は借りてきた猫
だな



王妃に
なりたいたなら

伽が苦手では
話にならないぞ

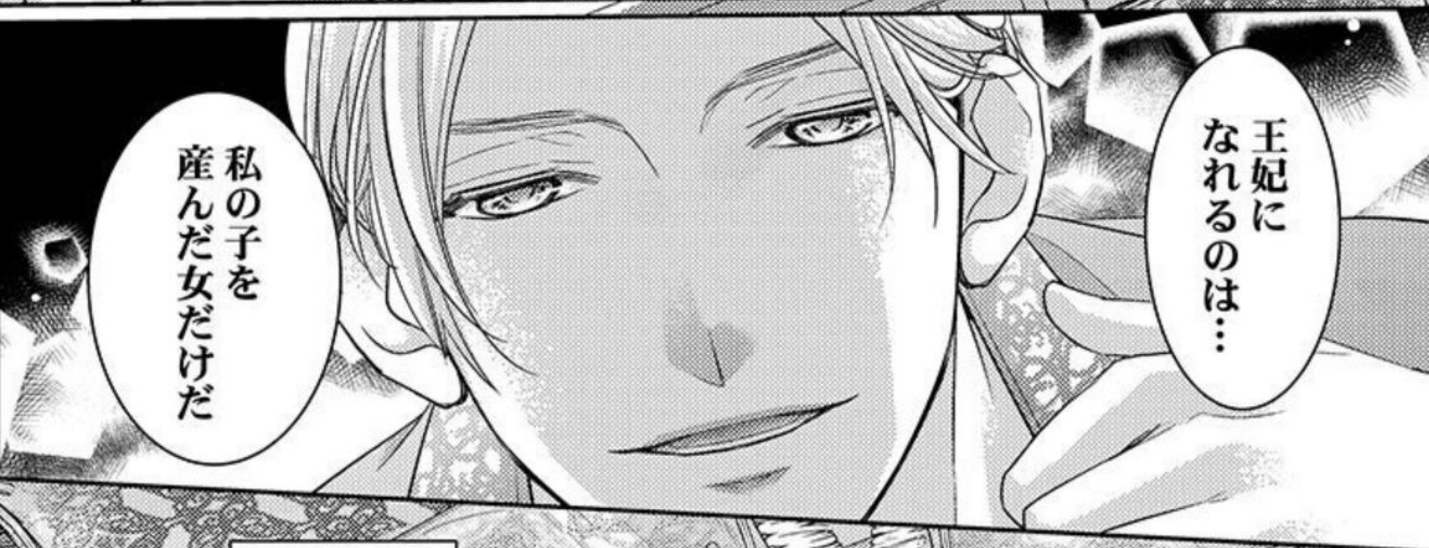


それは大奥に入るための
前提条件だな
だが



でも…
王妃になる
条件は…

強い魔力を
保持している
こと…では…っ



王妃に
なれるのは…

私の子を
産んだ女だけだ



クラウドス殿下

4人の王子の中で
最も王位継承を
期待される
超有望株

…つまり
クラウドス殿下の
夜伽に選ばれ
続けることが

王妃への
最短ルート…!!

私には前世で
男を落としたり
テクニックがある



その記憶を
駆使すれば

クラウス殿下の
心だって...

ちゅく

ちゅん



ちゅん
ちゅん
ちゅん
あ

ちゅん
ちゅん

ちゅん



弱い...っ

あ...あ



殿下...っ

くっく
くっく

待ってください...っ

は

や

あ

あ

クリオリス...
すくいあげられる...
ように
舐められるの...



イカされたの...
初めて...

は

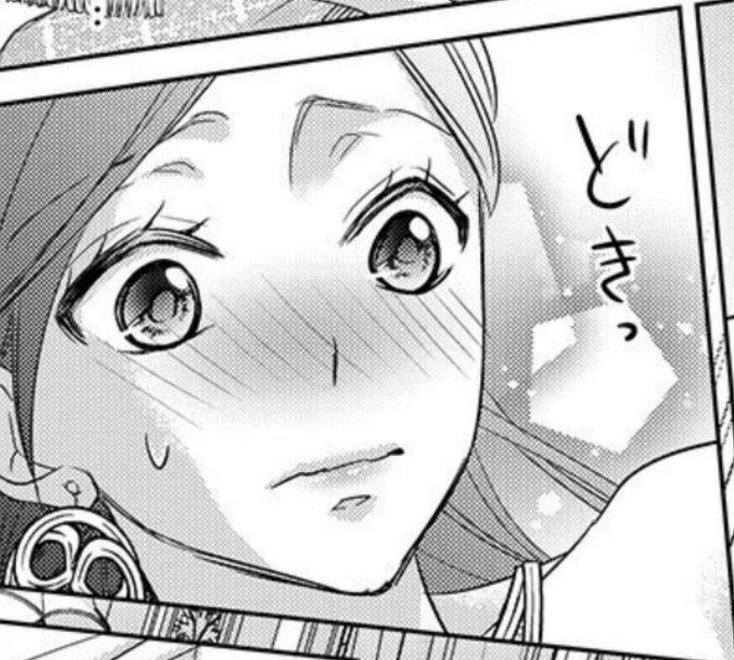
は

は

ああ...



ココが
いいんだな





挿ってる…

おん

殿下の…

あ、

あ、は、

この感覚…

は、

なに？ ギッ

ギッ

ん、



おん

！



あれ…力が…

抜ける…

……

どん…が…



レイナ!?

レナ…

異世界大奥
～王妃になりたくば
夜伽で殿下に愛され続けよ～(1)

著者 サウロ
発行 スクリーモ

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。

～王妃になりたいくば夜伽で殿下に愛され続けよ～

異世 大奥

*Ysehai
Dooku*

2

Sauro
サウロ

異世界大奥
～王妃になりたいくば
夜伽で殿下に愛され続けよ～

第 2 話

この私
レイナ・オルガは

ナイポニア島の
エディン王国に

しがない
庶民の子として

生を受けた

よしよし
いい子ね
レイナ

この国では
稀に

魔力を持つ
子供が産まれ

国を挙げて
珍重されている

おめでとう

この子の中に
魔力が視えるわ

まあ
レイナに？
未来の
お姫様だよ！

私もその1人
だった

魔力保持者は

18歳になると

国家公務者
として王宮への
出仕が義務付け
られている

その中でも
特に魔力の強い者は

男なら貴族

女なら王宮の
大奥に入廷

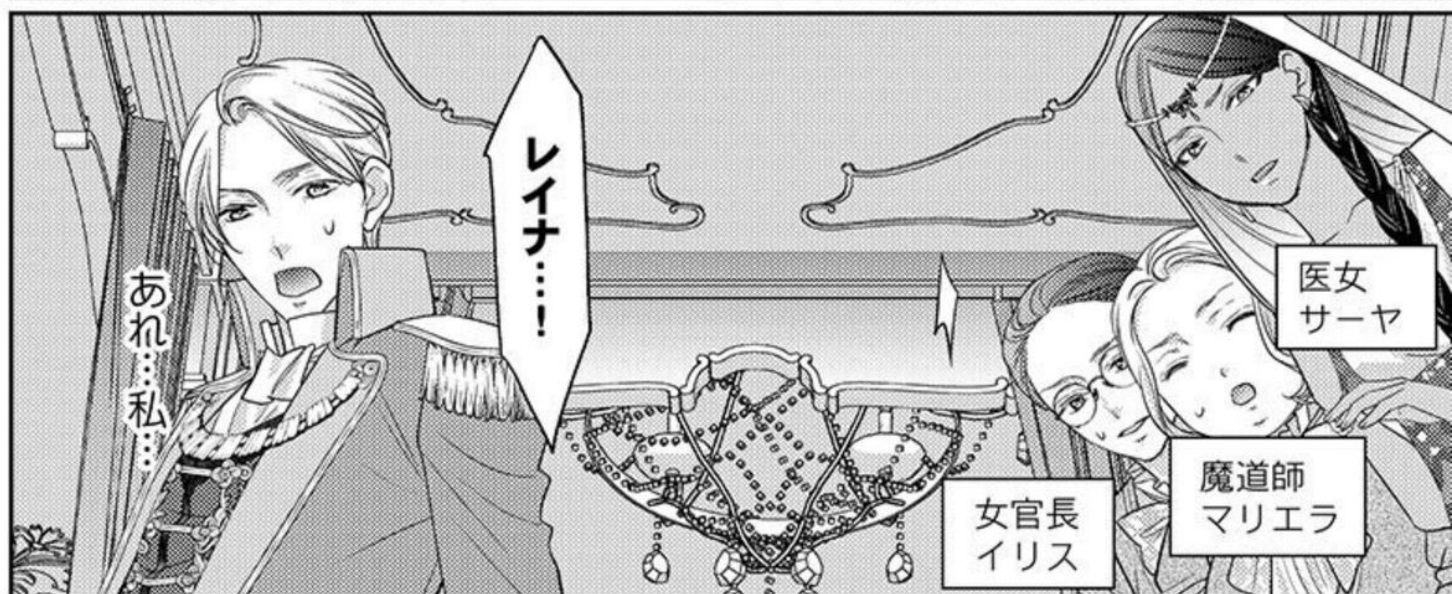
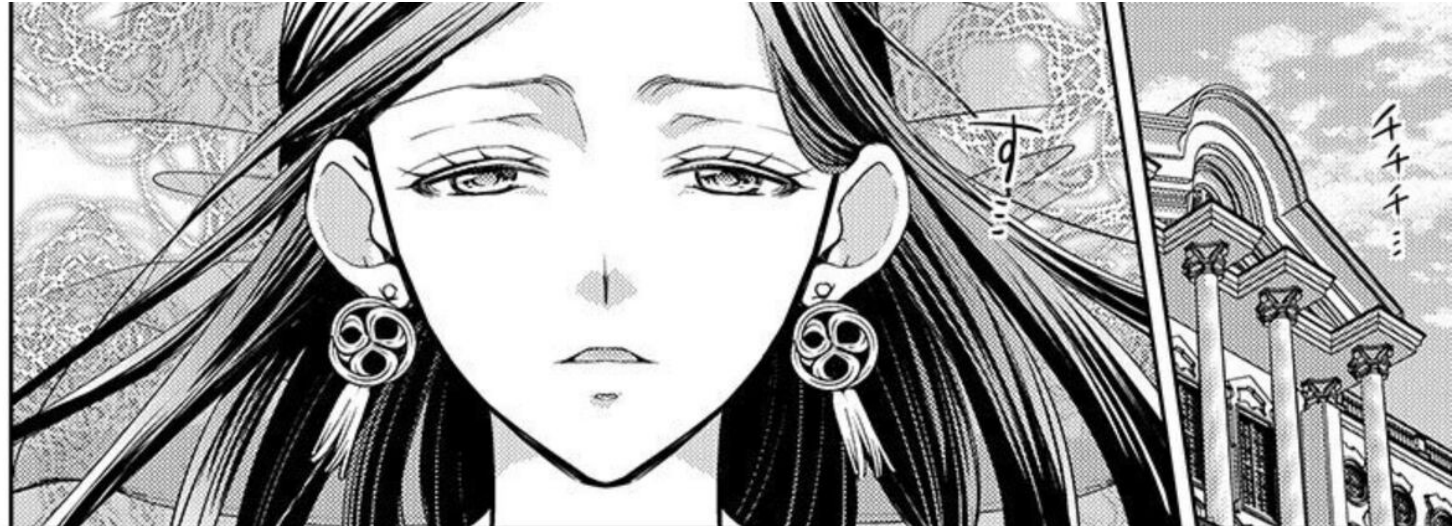
次期王妃候補として
王子殿下に仕えるのだ

そう
この国において
その名誉を
手に入れた

この私
レイナ・オルガは

この国の
女の頂点である

王妃の地位をも
手に入れることに
決めたのだ





殿下
失礼致します

どういうことだ？
マリエラ

かし



私の中に？



殿下のお体に
レイナの魔力が
視えます

ふわ



常人には
わからぬものを
視たり聴いたり…

多種多様です

何かを
生み出す者も
いれば



殿下

魔力というのは
保持者の数だけ
種類もあると
言われております

私が思うに

レイナは
別の誰かに
自分の魔力を
供給することが
できる

魔力の持ち主
なのではないかと

なるほど…
そうなのか？

いえ…
それが…
私も自分の
魔力のことは
よくわから
なくて…

あの…っ

私の魔力は
元に戻るん
ですか…？

もし
魔力保持者じゃ
なくなったら…

私の輝かしい
王妃生活が…!!

大丈夫
大丈夫

魔力は生命から
湧き出てくるもの

あなたが
生きている限り
また回復しますよ



クラウド殿下

御前会議の
お時間で
ございます

おとぎによかん
御伽女官
イル

ああもう
そんな時間か

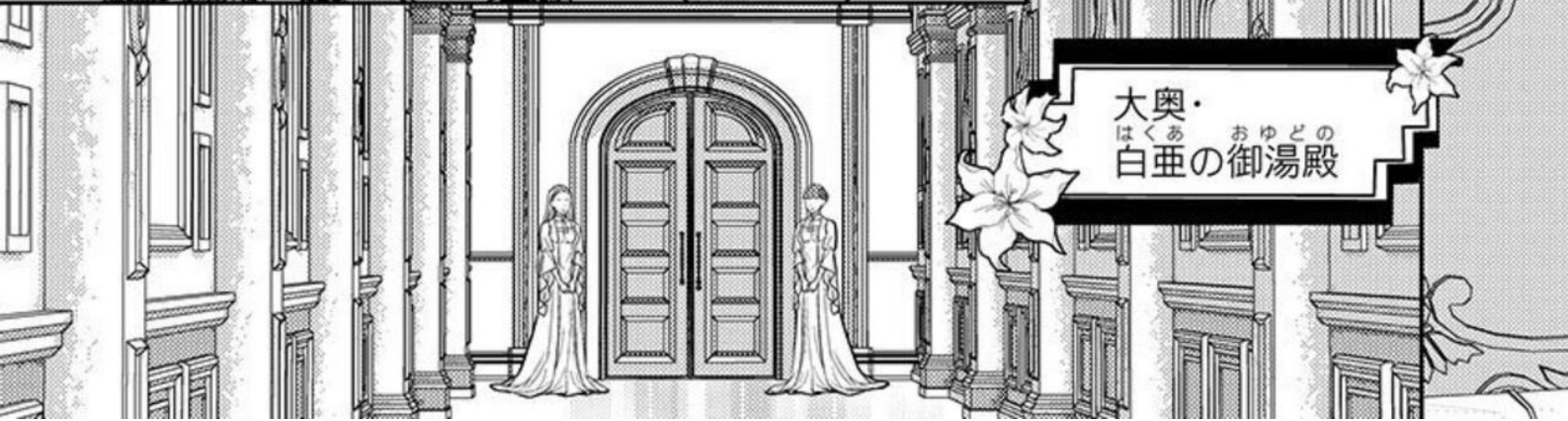


レイナ

あまり無理は
しないように

あ…

ありがとう
ございますっ

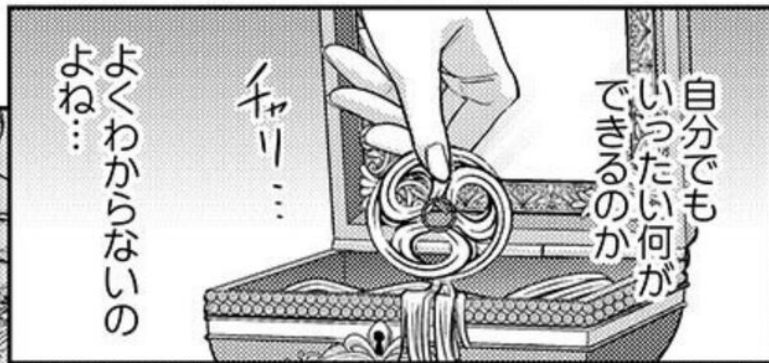


大奥・
はくあ おゆどの
白亜の御湯殿



王妃ルートへの招待チケットくらいいにか
思ってたから

魔力なんて



自分でも
いったい何が
できるのか

イヤリ...

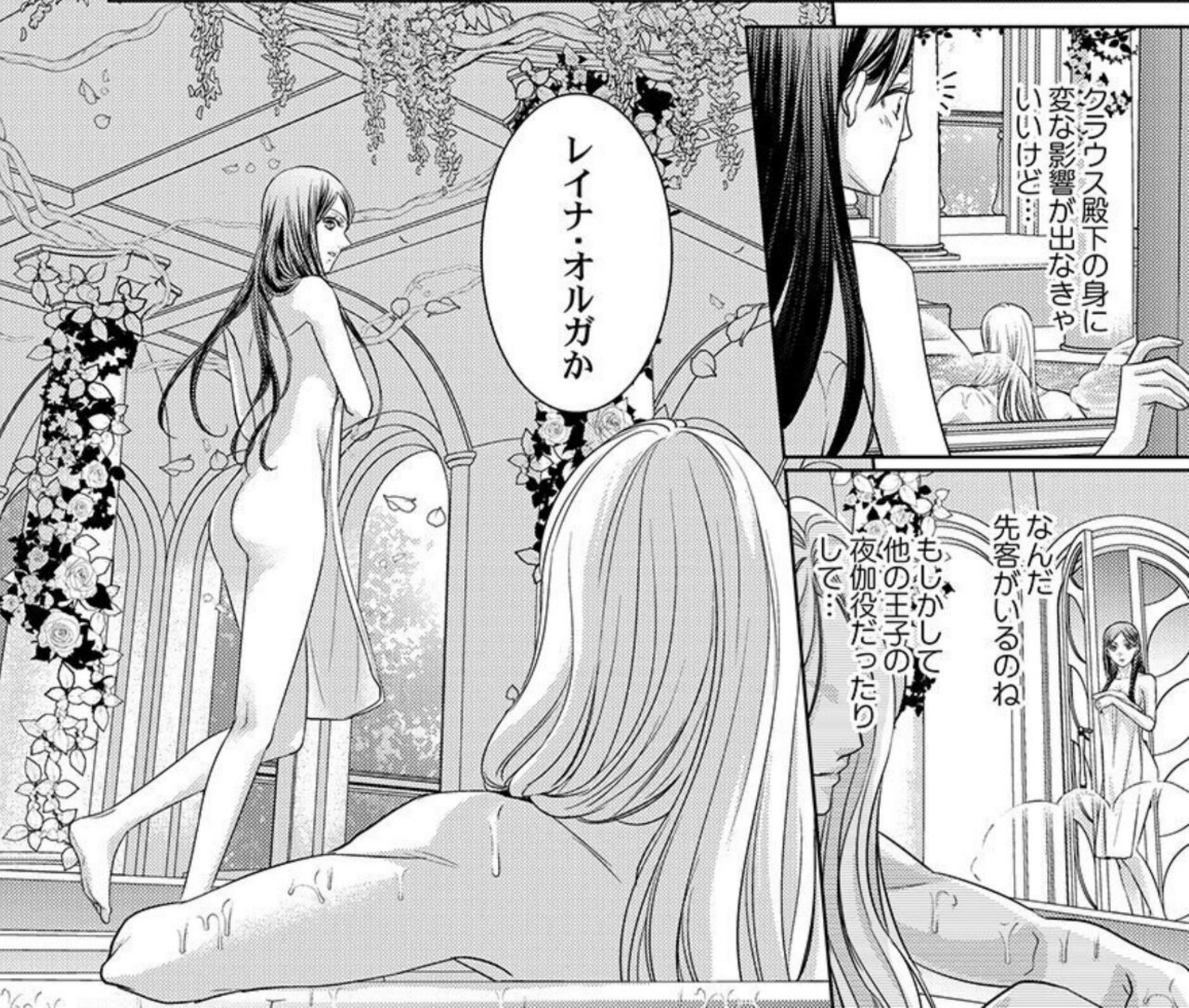
よくわからないの
よね...



ふう...

まさか

私の魔力が
クラウドス殿下に
移っちゃうなんて...



レイナ・オルガか



クラウドス殿下の身に
変な影響が出なきゃ
いいけど...



なんだ
先客がいるのね

もしかして
他の王子の
夜伽役だったり
して...



まさか
こちらに
いらつしやる
とは…
女官も
一言くらい…

グッ…
グレン殿下!?
大変失礼
致しました



…ってここ
大奥の大浴場
じゃん!!

なんで王子が
いるの!?

女官を責めるな

俺が
女の出入りを
許可している

そうじゃ
なくて!!



いい眺めだ



ご不興を
買わない程度に
あしらうのが
正解ね…



…クラウドス殿下と
同じ年齢だけど
その身の上から
王子としての
順位は一番下

王位を継ぐ
可能性は
極めて低い…

第四王子
グレン殿下

…たしか現国王が
王子だった頃に
娼婦との間に
できた子で

王宮で暮らし
始めたのは
10歳の頃

殿下…

まさか私の名を
お心に留め置いて
頂けていたなんて
光栄ですわ

大広間で
ストリップ
やろうとした
王妃候補なんて
そうそういない
からな

うん

ところで

クラウドスの伽で
気を失ったと
聞いたが

呆れるほど
あざといな

!

あざといのは
間違っではないけど

お言葉
ですが

演技では
ございませんわ

ほう…?

まあ
次期王妃を
狙うなら

まずクラウドスを
落とすのは
間違っちゃいないが

二ヤ
そんなに
クラウドスは
よかったのか?

俺も試して
みたくなった

!?



御冗談は
おやめください...っ

医女のご診察と
2ヶ月ほど
間を置く決まりが
ございます



殿下...!?



そのルールを
作ったのは

王族だ

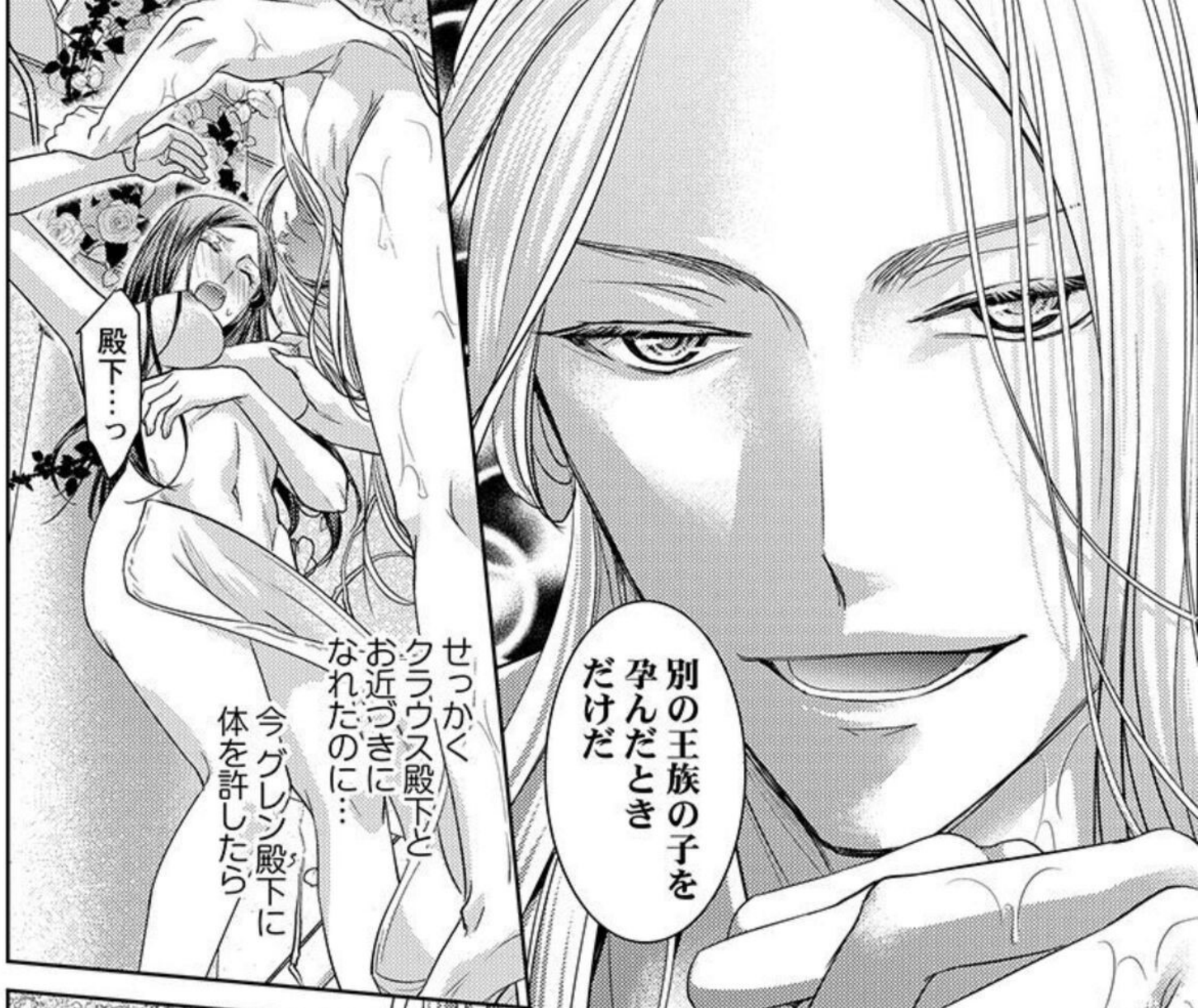


その王族である
俺には

ルールを
変えていい
権利がある

次期王妃候補が
おれに逆らうて
いいのは...

そして



別の王族の子を
孕んだとき
だけだ

せっかく
クラウド殿下と
お近づきに
なれたのに…

今、グレン殿下に
体を許したら

きっと
クラウド殿下に
見捨てられる…っ

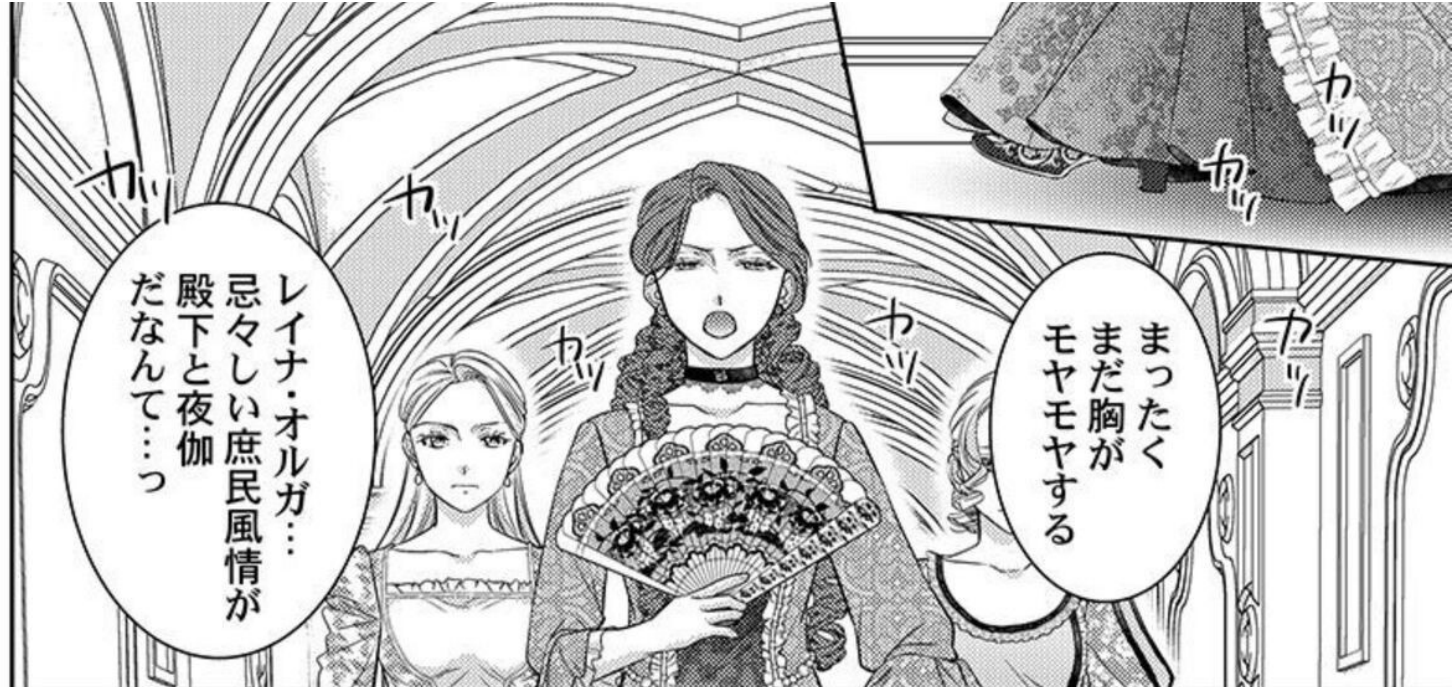


殿下…っ

抵抗…したいのに…

思うように
力が入らない…





まったく
まだ胸が
モヤモヤする

レイナ・オルガ…
忌々しい庶民風情が
殿下と夜伽
だなんて…っ



あら…貸し切り
だなんて

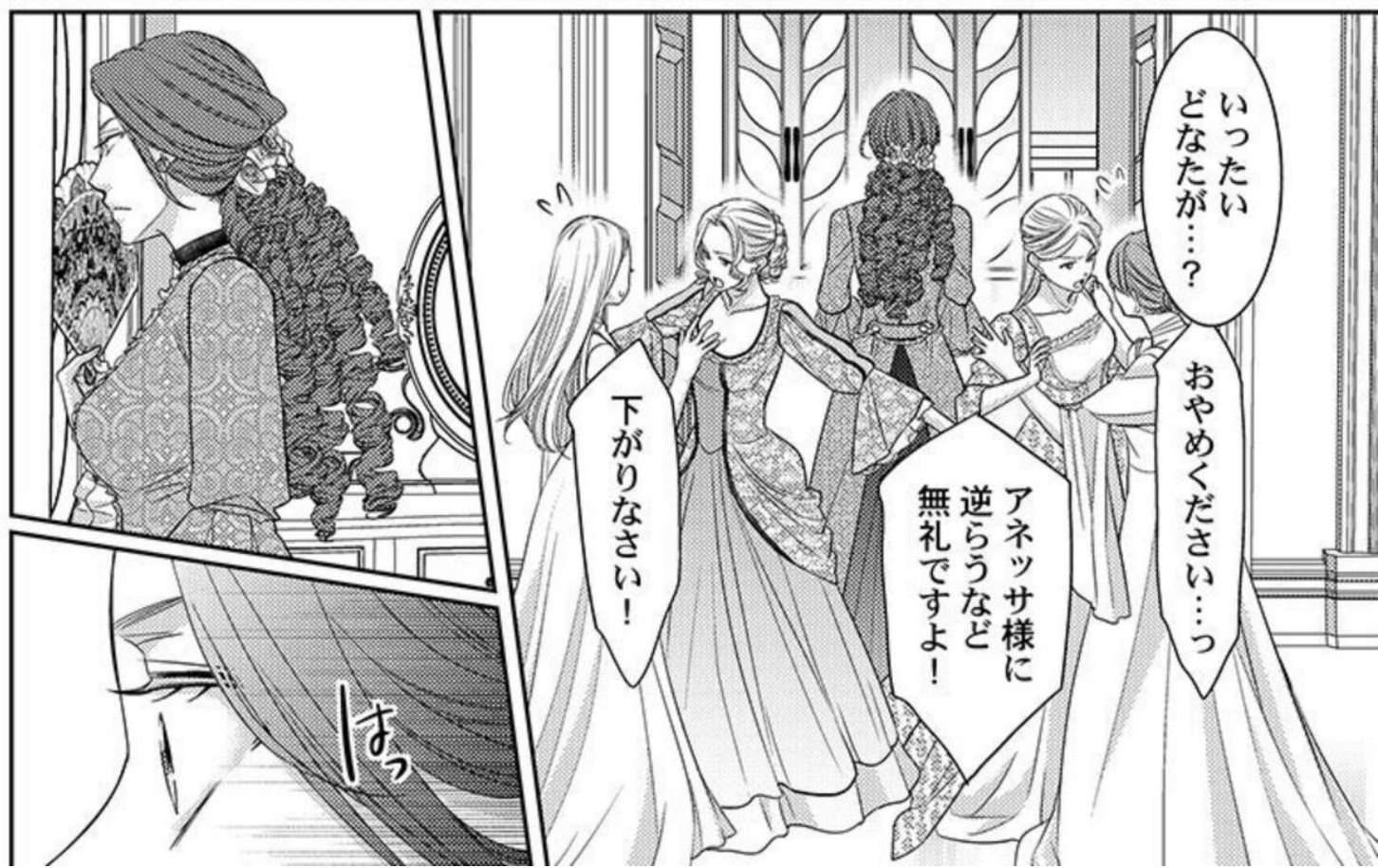
わたくしよりも
優先される
ご身分の方は

この大奥には
いらっしやらない
はずよ



申し訳
ございません

浴場は只今
ご使用中で
ございます



いったい
どなたが…?

おやめください…っ

アネッサ様に
逆らうなど
無礼ですよ!

下がりなさい!

はっ



グレン殿下と…

レイナ・オルガ…!?



レイナ・オルガ…

なんて卑しい女…!!

グレン殿下にまで
手を出すなんて

クラウス殿下に
お知らせ
しなければ…!



アネッサ様!?

どちらへ!?



はっ

はっ

はあ

んっ

ん

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ



殿…下…っ

これ以上
続けられたら
イッちゃう…っ



そろそろ媚香^{びこう}が
効いてきたか



軽く弄られてる
だけなのに…

うそ…
でしょ…



マギヨウシャ
夜馨花という
花の香りだ

異国からの
献上品で
王族の間で
愛用されてる

女の子宮が
刺激されて

男を欲する
ようになる



媚…香…?





次があるかも
わからないのに
無駄なことは
するな

まずは
クラウスの種を
全部掻き出して
やる



ああっ

グレン殿下っ
やめっ

だめっ

中…
擦られるたび
駆けのぼって
くるっ



もうっ
イクっ

イッたか

これで
わかっただろう？
抵抗しても
無…



ちゃっ





クラウス…殿下…

グレン!!

何をしてる!!



グレン殿下!!



…きつともう
クラウス殿下の
目に止めてもらえる
チャンスは…ない…

見てのとおり
次期王妃候補と
睦事に励んでる
最中だ



最悪だ…

よりもよって
クラウス殿下に
こんなところ!!



レイナは今
私のものだ



手を出しては
ならない決まりを
なぜ守らない

クラウス
殿下…？



ふーん…

それは
どうだかな



途中で気絶されて
まだ種はつけて
ないんだろ？

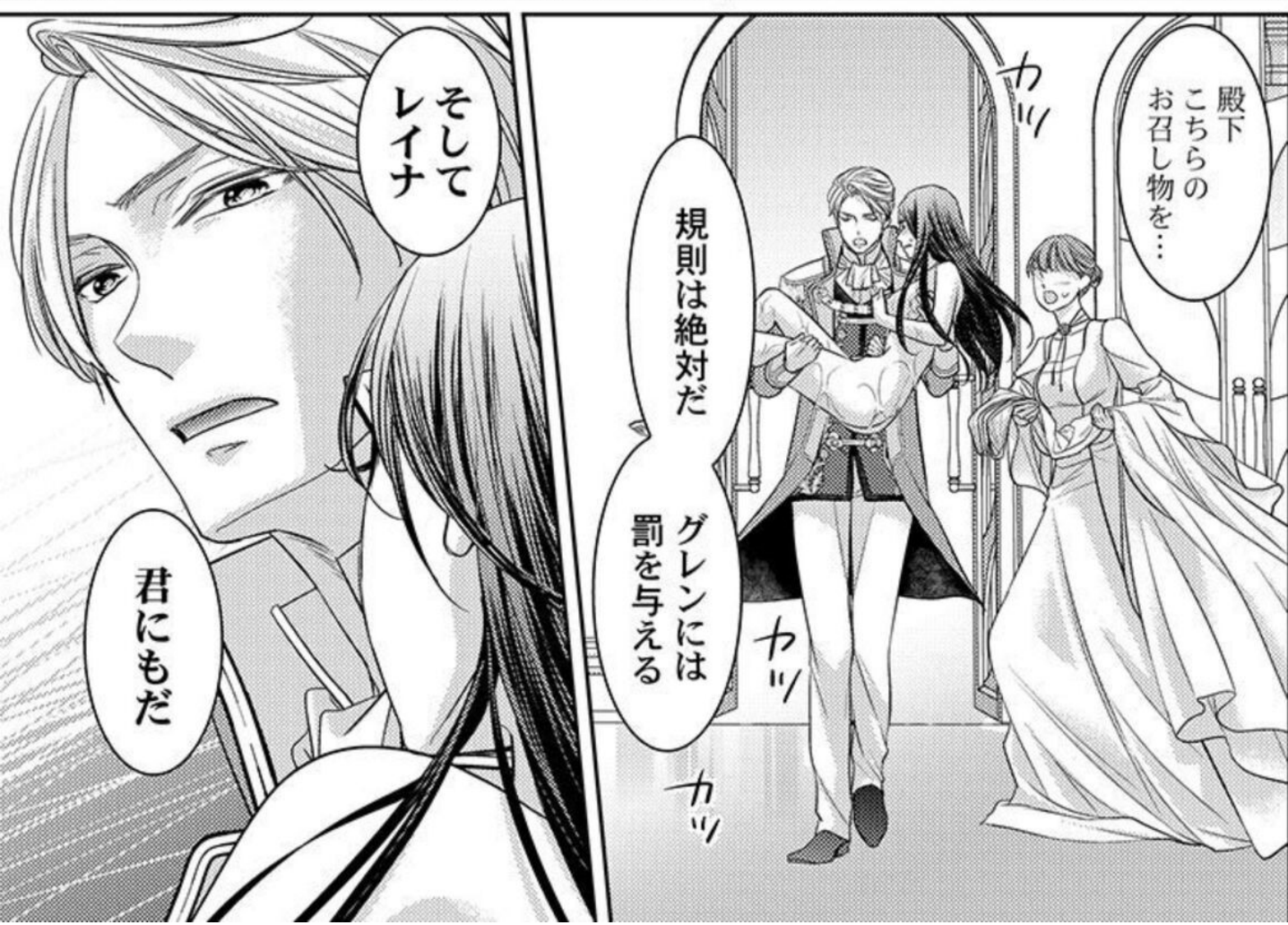


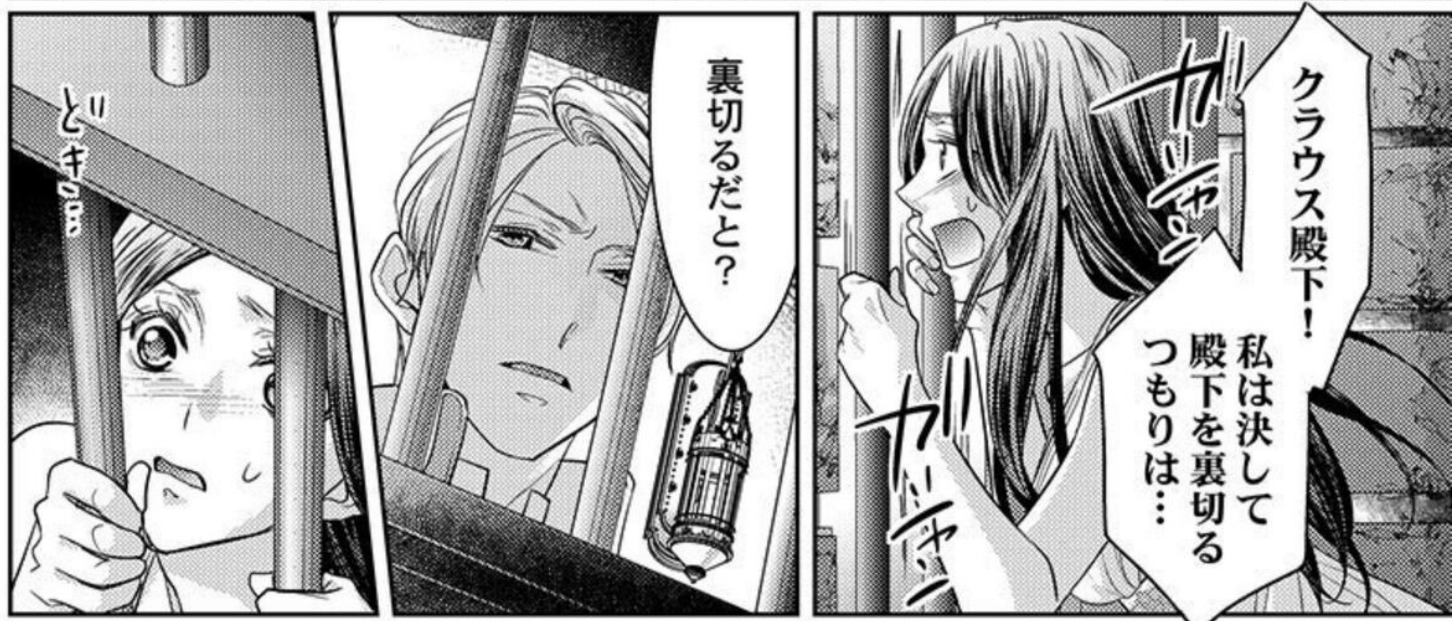
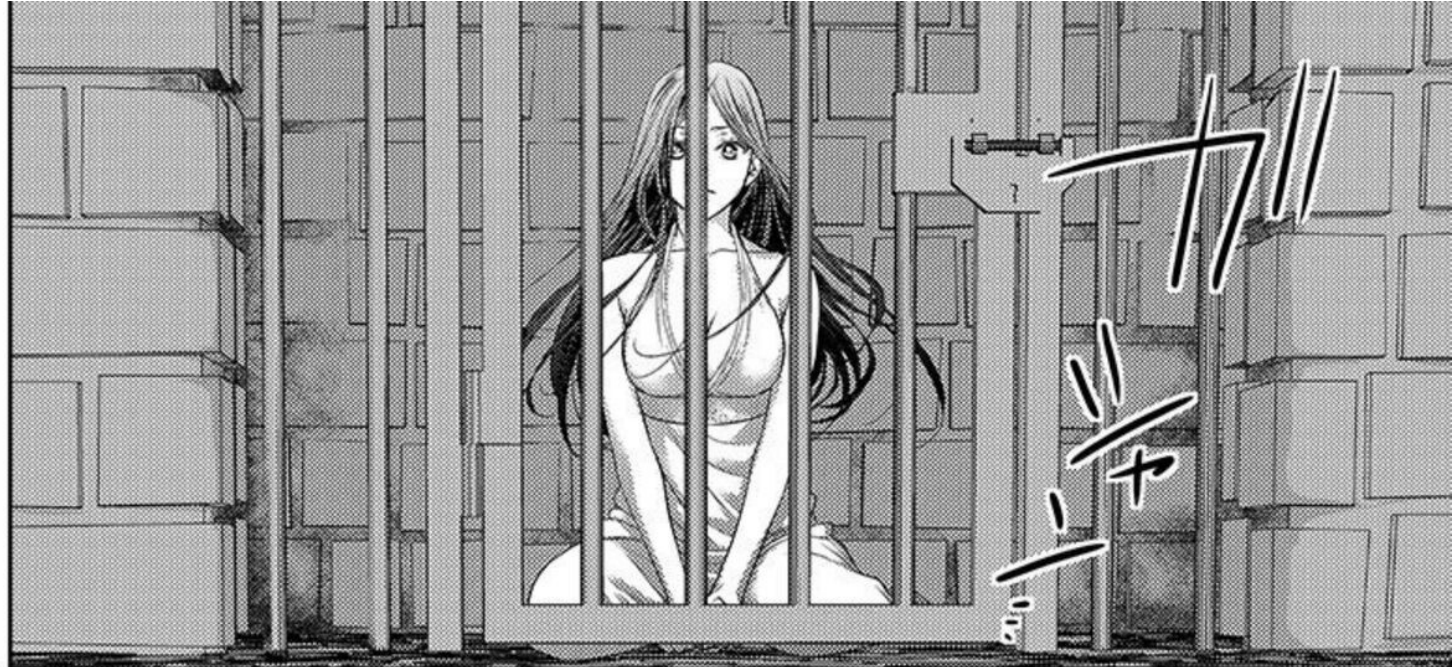
え…
それじゃあ…

だったらまだ
誰のモノでも
ない



ぐ…
……っ







アネッサ様

なぜ
こちらに…



ヤッ

あらあら

お得意の
出しやばりが
仇になったよう
ですわね



へばり



グッ



今に
見てなさい!!



なぜって

クラウス殿下に
あなたの不貞を
お知らせしたのは
このわたくしですから

けれどまさか
こんな素敵な
個室をお与えに
なるなんて…

とてもよく
お似合いですわ

次はあんたを
この牢屋に
叩き込んでやる

虚勢を張るのも
たいがいになさって

このわたくしを
あなたのような
下賤げせんの者と
同列に並べるなど
天罰が下ります

せいぜい
その檻の中で
ご自分の愚かさを
嘆くといいわ

：規則では
次期王妃候補の
不貞は

大奥追放
ですのに……

クラウド殿下……
なぜレイナ・オルガを
庇うの……

異世界大奥
～王妃になりたくば
夜伽で殿下に愛され続けよ～(2)

著者 サウロ
発行 スクリーモ

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。

～王妃になりたいくば夜伽で殿下に愛され続けよ～

異世大奥

*Ysehai
Dooku*

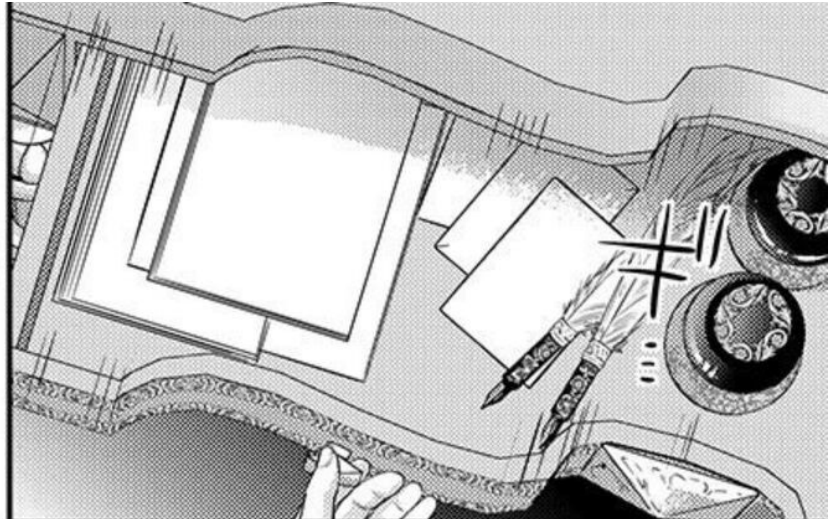
3

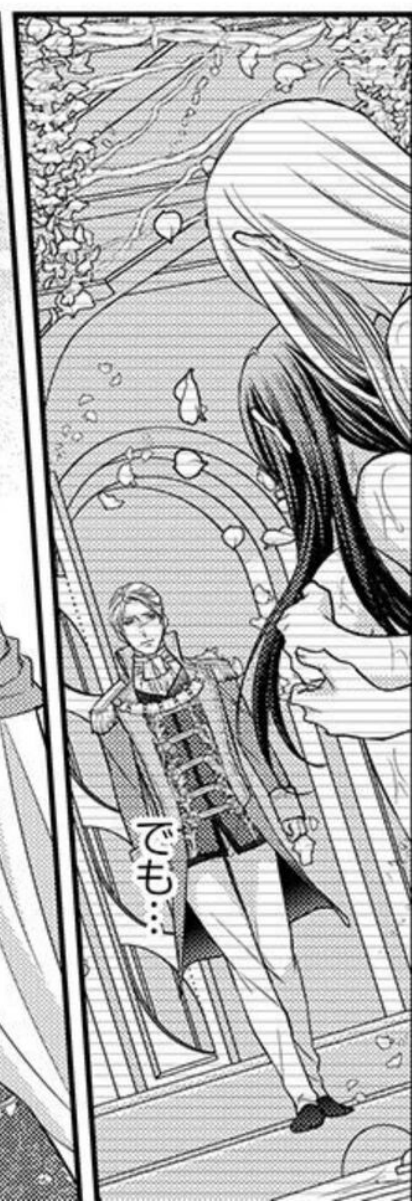
Sauro
サウロ

異世界大奥
～王妃になりたいくば
夜伽で殿下に愛され続けよ～

第 3 話







途中で
気絶されて

まだ
種をつけて
ないんだろ？

私はまだ

クラウドス殿下の
お手付きにさえ
なってなかった
なんて！

…このままじゃ
次期王妃の
地位が

どうしたら…

あー
いたいた

他の女の手
渡ってしまう…！



リュ：
リュカ殿下!?

レイナ・オルガ
発見♪

…私を…

捜しておいで
だったの
ですか…?

まあね



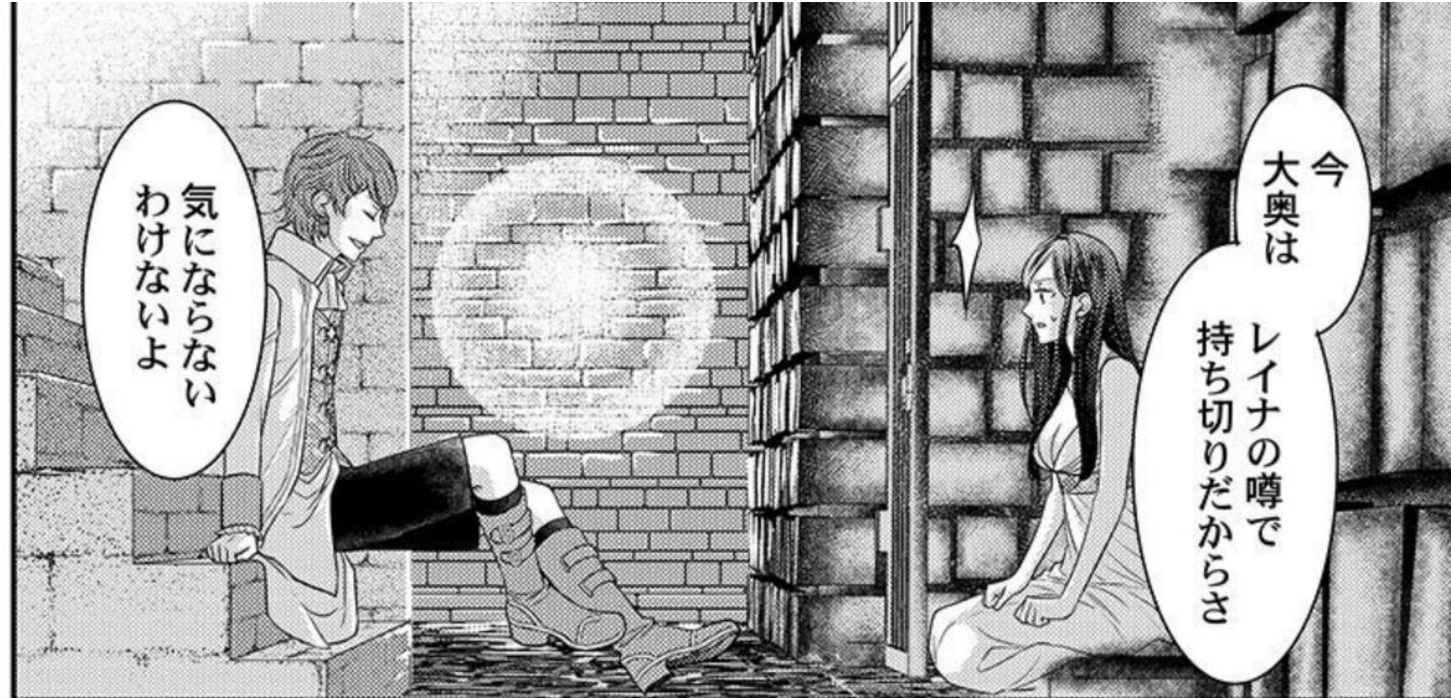
第三王子
リュカ殿下

クラウド殿下
とは腹違い

デレク殿下の
実の弟で
1番末の王子

王位継承順位は
第3位

女官たちとも気楽に
お茶することで
大奥では人気がある



兄上の夜伽で
気持ち良すぎて
失神して
医務室に運ばれて

未だに淫夢に
うなされて
のたうち回ってて

手が
つけれないから
面会謝絶で
1ヶ月は帰ってこない

って
噂だったけど
大丈夫？

所詮
噂は噂だね

ちゃんと真実を
確かめに来て
正解だった

いやその噂
信じてる人
いるんですか!?

…えっと…

その噂…
ほぼ間違っ
てますが
至って大
丈夫で
す…

…って
あの…っ

私が
投獄され
たって
噂は!?

でも…

アネツサ
が黙っ
てるは
ずは…

ないよ
あっさり
だから結構
探しまわっ
た

言えないん
だよ

不貞は
大奥・追放案件
なのに

え…

あの伯爵令嬢の
プライド
ズタボロだから

それじゃあ…
クラウス殿下が
庇ってくれな
かったら…

兄上が
レイナを庇って

牢屋に隔離で
済ませたなんて

私…
今頃…

クラウス殿下…

規則は絶対って
言ってたのに…

トクン
庇って
くれたんだ…

でも

庇うわりに
牢屋に入れる
あたり…

すっ

はた

怒ってるのは

確かだろうね

誤解…

解かなきゃ…

無駄だよ

兄上も
わかってる

王子に迫られて
拒否できる
女の子なんて
いないよ

だから
腹いせに
投獄して

気が収まれば
何もしなくても
出してもらえる

でも
それがいつに
なるかだよ

どうやら今夜から
内願ないがんの伽ときで
兄上は忙しくなる
みたいだし

会わない間に

レイナのこと

忘れちゃうかも



大奥に
多額の金品を
納める代わりに

王族との
夜伽の権利を
買うんだよ

どうやら
アネツサが
父親の伯爵に
頼んだらしい



ちよつと
待って!!

内願の伽つて
何!?



卑怯だわ!
お金で
買うなんて!



アネツサが!?



勝てば
いいんだよ



ところで
レイナの
目的は

王妃になること
でしょ？

だったらさ



誰が王になるか

じゃなくて

誰を王にするか

考えても
いいんじゃない？



え…

それって…
つまり…



君にあげる



…考えさせて
ください

たしかに

リュカ殿下の
言うとおり…

本来の
王位継承者から
謀略によって
その王位を
奪い取ることは

歴史上で
ままあることだ



僕が
王位継承を
経て

国王になるために
協力してくれたら

僕の
王妃の地位は

レイナ



でも

リュカ殿下が
国王になる
そのとき……

クラウス殿下は
どうなるの……？



なんで
悩むの？

はっ



リュカ……殿下……？

カ
チ
ヤ



兄上に
惚れた？

もしかして



たった1回の
夜伽で落ちる
なんて…



他の

魔力しか
取り柄のない
浮かれポンチたちと
違って

レイナは
気骨があると
思ったのに



それ以上
僕が抱けば
気持ち
変わる？





決断するには
まだ早い……!

女は一度
抱かれたからと
いつて

簡単に気持ち
揺らぐような
生き物では
ございませんわ

リュカ殿下……
あなたが私を
気骨のある女と
認めてくださった
ように

私にも殿下の
気骨のあるところを
見せていただき
たいのです



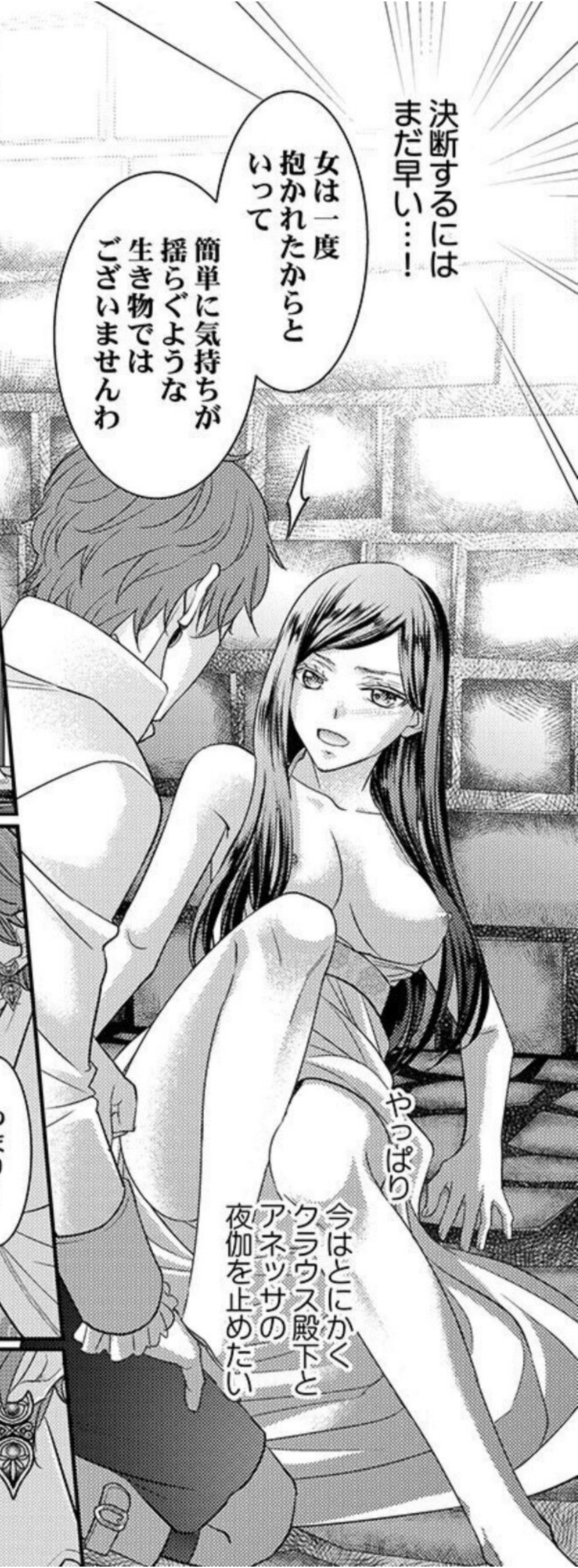
……はい

つまり……
レイナが
僕を認めれば
協力すると?



やっぱり

今はとにかく
クラウス殿下と
アネッサの
夜伽を止めたい



…まったく
王子に向かって
意見するとは…

いいだろう

何をすれば
いい？

待ちくたびれ
ましたわ！

早く
クラウス殿下の
もとへ…！！

アネッサ

宵月の館へ

ぼさっ

……

リュカ殿下からの
ご命令ですよ

お先にご指名なさった
お方のもとへ
参上する決まりです

クラウド殿下からも
お話がありました
が
そういうことなら
辞退すると…

え…

クラウド…
殿下は…？

わたくしは…

わたくしは…

クラウドス殿下が
いいの!!

クラウドス殿下…!!

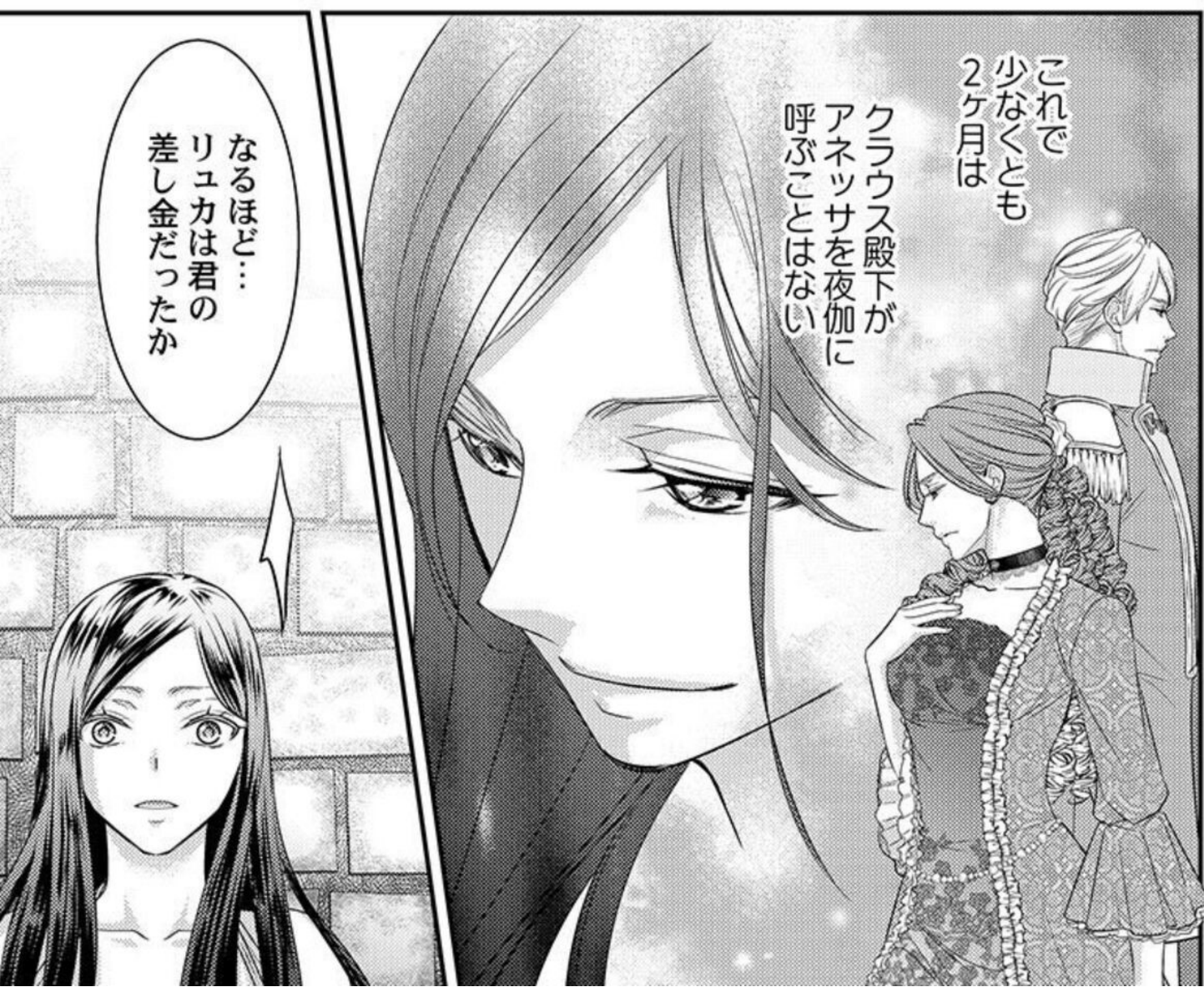
なんで
リュカ殿下なの!!

あ あ あ あ

無礼者!!

言葉を慎め!!

クラウドス殿下…っ





!?

クラウス...
殿下...

異世界大奥
～王妃になりたくば
夜伽で殿下に愛され続けよ～(3)

著者 サウロ
発行 スクリーモ

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。